

『百人一首』 中村素堂先生の仮名散らし書きの魅力 (三)

浅茅生の小野の篠原しのぶれど あまりてなどか人の恋しき

参議等

〈歌意〉

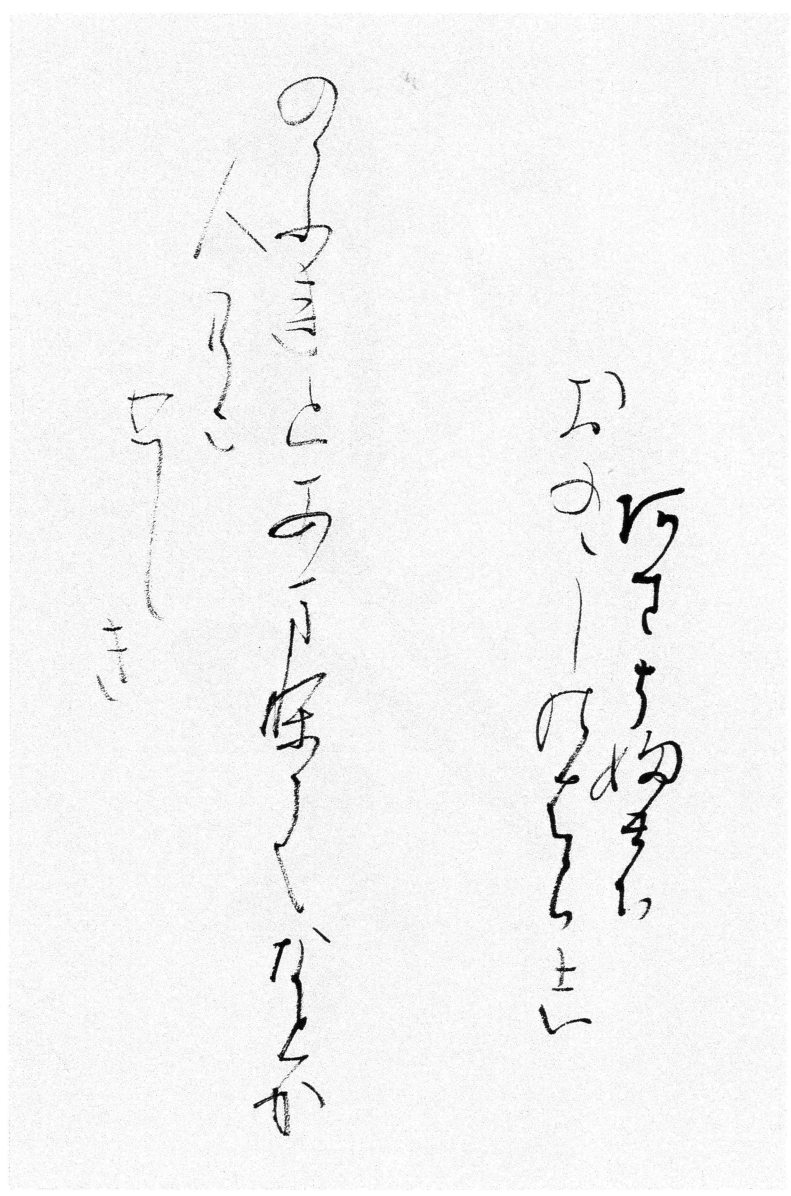
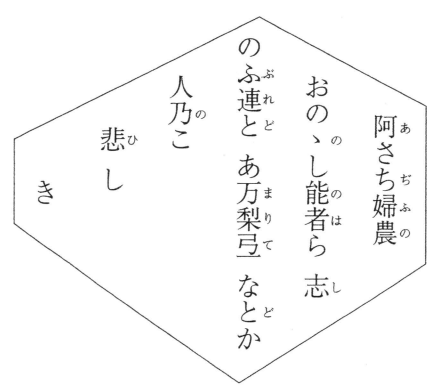
「茅が生えている小野の篠原の「しの」ではないが、耐え忍んでもこらえきれず、どうしてこんなにあなたが恋しいのでしようか。」

〔出典〕『後撰集』(恋・五七七番)

(参議 等)

源等。元慶二(八八九)〜天曆五(九五二)年、七十二歳。嵯峨天皇の曾孫。

〈よみ〉



中村素堂先生の書 晝間欽堂先生提供